

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
○地域・家庭・学校との連携を深め、温かい雰囲気の中で子どもたちが生き生きと成長することができる学校を目指します。	
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分の思いを表現できる授業をめざし、基礎基本の定着を図り、学力向上に取り組みます。 ・多くの人々とのかかわりや体験を通して学び、主体的な活動を目指します。 ・自他とのかかわりのなかで、自他のよさに気づき、互いに認め合う心を育てます。 ・地域・家庭と連携を図り、協働教育を常に意識した信頼される学校づくりを目指します。 ・体力向上を目指し、身体と心の健康について全校で取り組みます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①子どもの実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、授業公開を年1回以上行います。
担当	道徳部	②体験学習やスマイル班活動を充実させます。

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校は、「黄色いベスト（登下校の見守り活動）」の取り組みなど、地域や保護者の方々と連携をして、子どもを育てようとする環境にあります。こうした温かい環境の中で育てている子どもたちは明るく素直に毎日の学校生活を送っています。しかしその一方で、「自分のよさを進んで出していこう」「進んで周りの人にかかわっていこう」という自信や主体性が足りないように感じます。子どもたちが、多くの人々とのかかわりや豊かな体験を通して、自分をとりまく人々と積極的にかかわりを持ち、自分のよさを進んで出すとともに、互いのよさを認め合おう、高め合おうとすることができる子どもたちを育てていきたいと考えます。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・道徳授業力推進力向上推進校として道徳の授業を全市に向けて公開します。
- ・学校公開では、全学級の道徳の授業を家庭・地域に公開します。
- ・校内重点研究で「特別の教科道徳」に取り組み、1人一回研究授業を行い研究を進めます。
- ・人権週間では、人権に沿った道徳（教科等）の授業を行い、授業内容を全職員で共有します。
- ・福祉教室では体の不自由な方の話などを聞いたり、ふれあい給食では地域のお年寄りの方々とふれあったりするなどの体験を通して、子どもたちが、すべての人が支え合い、認め合いながら生きているという心情と実践的態度を育成します。
- ・学校掲示板や学校便りなどでは、子どもたちの「ふれあい」を通じた声を掲載し、地域・家庭の方々とともに、連携して子どもたちの心を育てていこうとすることができるようにします。

【項目 自分づくり教育】

- ・スマイル班活動（縦割班活動）を充実させます。全校遠足や運動会、スマイル班活動を通して、6年生を中心に主体的に活動することによって、互いのふれあい（思いやり）を深めるとともに、自信をもって自分のよさを出すことができるようにします。
- ・宿泊体験学習では、4年生から6年生まで系統立てて内容を考え、子どもたちが主体的に活動することができるように支援していきます。こうした活動を通して、互いのよさを認め合い、高め合おうとすることのよさを実感できるようにしていきます。